

(2) 歳 出 (別表 5, 9 参照)

イ. 概 要

平成 22 年度一般会計の歳出決算額は 1 8 6 億 8, 7 6 0 万 3 千円で、予算現額 1 9 9 億 8, 1 2 2 万 6 千円に対し、93.5%の執行率である。

翌年度繰越額は 9 億 8, 6 0 1 万 7 千円で、そのすべてが繰越明許費繰越額となっている。したがって、予算執行残額から翌年度繰越額を差し引いた額が不用額として 3 億 7 6 0 万 6 千円となっている。

決算額のうち前年度に比べて減少している主なものは、公債費 9 億 5, 9 2 6 万 9 千円 (31.4%)、総務費 5 億 3, 6 2 4 万 2 千円 (21.8%)、農林水産業費 1 億 1, 5 5 5 万 7 千円 (9.7%)、商工費 1 億 8 1 3 万 8 千円 (16.4%)、衛生費 8, 7 9 7 万 1 千円 (3.9%)、消防費 8 5 3 万 9 千円 (1.3%) であり、増加したものは、民生費 7 億 6, 7 3 8 万 6 千円 (17.6%)、諸支出金 4 億 1, 0 6 8 万 9 千円 (34.8%)、教育費 2 億 3, 1 0 3 万 4 千円 (14.8%)、土木費 5, 6 0 3 万 5 千円 (4.8%)、労働費 6 9 4 万 9 千円 (2.5%) である。概ね予算に即した執行がされていたことを認めた。決算額を性質別に区分すると次のとおりである。

性 質 別 決 算 額 比 較 表

区 分 性 質 別		平成 22 年度		平成 21 年度		比較増減
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	
		千円	%	千円	%	千円
消 費 的 経 費	人件費	3,291,599	17.6	3,390,011	17.8	△ 98,412
	物件費	2,107,539	11.3	1,991,815	10.5	115,724
	維持補修費	110,865	0.6	111,497	0.6	△ 632
	扶助費	2,875,017	15.4	2,274,766	12.0	600,251
	補助費等	3,810,587	20.4	4,632,585	24.3	△ 821,998
	小 計	12,195,607	65.3	12,400,674	65.2	△ 205,067
投 資 的 経 費	普通建設事業費	1,251,777	6.7	814,113	4.3	437,664
	災害復旧費	7,444	0	8,225	0	△ 781
	小 計	1,259,221	6.7	822,338	4.3	436,883
公 債 費		2,094,449	11.2	3,053,713	16.0	△ 959,264
積 立 金		478,514	2.6	67,825	0.4	410,689
投資及び出資金		0	0.0	0	0.0	0
貸 付 金		1,674,270	8.9	1,734,160	9.1	△ 59,890
繰 出 金		985,542	5.3	954,005	5.0	31,537
合 計		18,687,603	100.0	19,032,715	100.0	△ 345,112

消費的経費は後年度に形を残さない性質の経費であり、投資的経費はその支出の効果が資本的形成に向けられ、施設等ストックとして将来に残るものに支出される経費である。

歳出科目は14款に区分されており、その構成及び予算の執行状況は次のとおりである。

ロ. 議会費

議 会 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
172,069,000	169,767,083	0	2,301,917	98.7	0.9

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額1億7,047万7千円に比較すると71万円(0.4%)の減少である。

ハ. 総務費

総 務 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,959,576,000	1,926,787,764	3,012,000	29,776,236	98.3	10.3

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額24億6,303万円に比較すると5億3,624万2千円(21.8%)の減少である。

これは、電算処理費1億1,283万1千円(161.1%)、一般管理費4,010万5千円(4.1%)、参議院議員選挙費1,979万5千円(皆増)、賦課徴収費1,625万8千円(20.8%)、統計調査費1,233万5千円(321.5%)、企画費818万9千円(6.7%)などがそれぞれ増加したものの、定額給付金給付事業費で7億798万5千円、衆議院議員選挙費2,382万3千円、知事選挙費2,313万円それぞれ減少したことが主な理由である。

なお、翌年度繰越額301万2千円は、企画費150万円、県議会議員選挙費151万2千円の繰越によるものである。

また、不用額2,977万6千円は、主に総務管理費の財産管理費において本庁舎の修繕費の減少による需用費292万4千円、企画費において加西市公共交通活性化協議会への補助金の減少による負担金補助及び交付金405万4千円、電算処理費において機器修繕費用の減少による需用費180万8千円、徴税費の税務総務費において臨時職員の減員及び時間外勤務の削減による賃金113万5千円、選挙費の県議会議員選挙費において、選挙費委託金の減額変更による需用費103万2千円がそれぞれ不用となったものである。

ニ. 民生費

民 生 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
5,204,742,000	5,133,721,779	2,000,000	69,020,221	98.6	27.5

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額43億6,633万5千円に比較すると7億6,738万6千円(17.6%)の増加である。

これは主に、福祉医療費4億5,295万7千円(59.5%)、子育て応援特別手当支給事業2,572万5千円(皆減)、児童福祉施設費845万2千円(1.8%)、学童保育費167万2千円(4.9%)、母子福祉費65万8千円(25.6%)国民年金費29万9千円(2.6%)それぞれ減少したものの、児童措置費4億6,523万円(50.6%)、後期高齢者医療事業費4億5,216万7千円(皆増)、児童福祉総務費1億7,129万6千円(411.4%)、扶助費6,909万7千円(24.6%)、障害者福祉費3,935万8千円(9.6%)、社会福祉総務費3,345万7千円(2.9%)、老人福祉費1,778万7千円(21.6%)、生活保護総務費620万3千円(26.5%)、人権推進費162万2千円(19.2%)、健康福祉会館費86万6千円(1.5%)、社会福祉施設費6万5千円(0.1%)、児童館運営費4千円(0.9%)それぞれ増加したためである。

なお、翌年度繰越額200万円は、児童福祉施設費で200万円の繰越によるものである。

また、不用額6,902万円は、主に社会福祉総務費において、心身障害者養護年金受給者が減少したことによる扶助費140万2千円、出産育児一時金(国保特会)及び事務費等に係る一般会計繰出しに要する経費の減、介護給付費・介護予防費事業・地域包括支援事業・任意事業の減による繰出金2,494万5千円、障害者福祉費において、小規模作業利用者の減、基金事業補助金対象事業所の減による負担金補助及び交付金146万円、障害者自立支援給付事業において利用者、回数が見込み額を下回ったため扶助費582万9千円、福祉医療費において医療費の増減による扶助費664万9千円、後期高齢者医療事業費において、検診受診者数が見込みを下回ったため委託料104万5千円、老人福祉費において、住宅助成対象件数の減、老人保護措置者の減による扶助費141万8千円、児童福祉総務費において、専門職である相談員賃金単価の増を見込んでいたが、従前単価より増額になることがなかったため賃金160万4千円、それぞれ不用となったものである。

ホ. 衛生費

衛 生 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
2,205,483,000	2,167,556,640	0	37,926,360	98.3	11.6

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 22 億 5,552 万 7 千円に比較すると 8,797 万 1 千円 (3.9%) の減少である。

これは主に、予防費 3,524 万 7 千円 (70.8%)、保健衛生総務費 2,330 万 4 千円 (3.0%)、健康推進対策費 147 万円 (2.9%)、母子衛生費 68 万 5 千円 (3.1%)、環境保全対策費 57 万 7 千円 (8.8%)、環境衛生費 31 万 3 千円 (29.6%) それぞれ増加したものの、生活排水対策費 6,074 万 1 千円 (8.6%)、塵芥処理費 4,530 万 6 千円 (10.5%)、火葬場費 2,736 万 9 千円 (53.8%)、し尿処理費 1,306 万 1 千円 (8.7%)、ごみ減量対策費 294 万 6 千円 (22.3%)、清掃総務費 14 万 6 千円 (12.2%) それぞれ減少したことによるものである。

また、不用額 3,792 万 6 千円は、主に予防費における個別接種委託料実績が見込みより下回ったため委託料の 843 万 7 千円、健康推進対策費において、基本診査・がん検診委託料実績が見込みより下回ったため委託料 124 万円、ごみ減量対策費において、資源ごみ売却単価増による資源集団回収の補助金の減のため補助金 102 万円 5 千円、塵芥処理費においてごみ焼却量の減に伴う薬剤混入量の減による需用費 103 万 9 千円、ごみ焼却量の減に伴う焼却灰処分量の減による委託料 615 万 7 千円、入札減による工事請負費 108 万 3 千円、し尿処理費において燃料費、光熱水費等の減による需要費 246 万 5 千円、入札減による委託料 121 万 1 千円それぞれ不用となったものである。

なお、廃油用油リサイクル事業については、市民への浸透を考慮すると、事業を継続することが望ましい。

へ. 労働費

労働費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
291,682,000	290,018,822	0	1,663,178	99.4	1.6

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 2 億 8,306 万 9 千円に比較すると 694 万 9 千円 (2.5%) 増加している。これは、労働諸費が増加したためである。

ト. 農林水産業費

農林水産業費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,083,934,000	1,072,037,676	0	11,896,324	98.9	5.7

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 1 億 8,759 万 4 千円に比較すると 1 億 1,555 万 7 千円 (9.7%) の減少である。

これは主に、農村総合整備事業費 5,311 万 1 千円 (18.5%)、林業振興費 1,753 万

8千円（245.5%）、農業委員会費117万7千円（3.1%）、林業総務費35万円（4.5%）それぞれ増加したものの、農地費6,669万7千円（50.8%）、防衛施設周辺整備事業費5,463万9千円（皆減）、国営かんがい排水関連事業費3,880万2千円（8.4%）、農業振興費876万6千円（28.7%）、農林業センサス費599万2千円（99.4%）、農業総務費567万1千円（4.3%）、地籍調査事業費377万2千円（21.6%）、地域農政推進対策事業費333万9千円（37.5%）、農村環境改善センター管理費4万7千円（1.5%）、畜産業費7千円（0.3%）それぞれ減少したことによるものである。

また、不用額の1,189万6千円は、主に農業振興費において、業務期間を短縮したため賃金126万9千円、農地費において、業務内容の見直しによる委託料548万1千円それぞれ不用となったものである。

チ. 商工費

商 工 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
554,310,000	553,235,383	0	1,074,617	99.8	3.0

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額6億6,137万4千円に比較すると1億813万8千円（16.4%）の減少である。

これは、商工総務費233万7千円が増加しているが、商工振興費1億1,031万4千円（17.7%）、観光費16万2千円（1.7%）が減少したためである。

リ. 土木費

土 木 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,351,368,000	1,224,624,752	121,579,000	5,164,248	90.6	6.6

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額11億6,858万9千円に比較すると5,603万5千円（4.8%）の増加である。

これは主に、防衛施設周辺整備事業費3,838万8千円（皆減）、都市下水費2,872万9千円（4.0%）、公園費43万2千円（2.6%）、交通安全施設整備事業費14万4千円（1.9%）がそれぞれ減少したものの、道路新設改良費9,775万5千円（99.4%）、都市計画総務費1,145万5千円（18.9%）、道路維持費776万1千円（16.1%）、住宅管理費269万6千円（11.1%）、土地区画整理費210万円（125.0%）、橋梁維持費174万円（103.6%）、市営駐車場管理費19万9千円（4.9%）、河川総務費9万4千円（2.4%）がそれぞれ増加したことによるものである。

なお、翌年度繰越額1億2,157万9千円は、道路維持費5,277万9千円、道路新設改

良費 5,970万円、公園費 200万円、住宅管理費 700万円の繰越によるものである。

また、不用額の 516万4千円は、主に道路新設改良費において、臨時地方道整備事業（鎮岩段下線）の精算による工事請負費 191万2千円が不用となったことによるものである。

ヌ. 消防費

消 防 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
662,076,000	661,391,212	0	684,788	99.9	3.5

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 6億6,993万円に比較すると 853万9千円（1.3%）の減少である。

これは、非常備消防費 417万3千円（4.7%）、消防施設費 282万4千円（9.6%）、常備消防費 163万5千円（0.3%）それぞれ減少したことによるものである。

ル. 教育費

教 育 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
2,787,510,000	1,797,053,894	859,426,000	131,030,106	64.5	9.6

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 15億6,602万円に比較すると 2億3,103万4千円（14.8%）の増加である。

これは主に、学校振興費 3,079万1千円（23.4%）、幼稚園費 2,247万5千円（11.8%）、社会教育総務費 1,771万円（17.7%）、給食施設運営費 1,006万2千円（6.8%）、図書館費 164万9千円（1.3%）がそれぞれ減少したものの、学校管理費（中） 2億5,427万円（124.9%）、事務局費 1,552万3千円（5.9%）、市史編集費 1,348万2千円（78.2%）、教育研修所費 1,089万5千円（124.8%）、教育振興費（小） 845万5千円（23.2%）がそれぞれ増加したことによるものである。

なお、翌年度繰越額 8億5,942万6千円については、学校管理費（小）で 9,985万4千円、学校管理費（中）で 7億5,683万1千円、給食施設運営費で 274万1千円の繰越によるものである。

また、不用額 1億3,103万円は主に、小学校の学校管理費において入札残による不用額として、委託料 989万9千円、工事請負費 744万6千円、中学校の学校管理費において入札残による不用額として、委託料 111万円、工事請負費 9,229万4千円、給食施設運営費において、給食調理アルバイトにおける時間外勤務削減、途中退職などを理由に賃金 124万7千円それぞれ不用となったことによるものである。

教育施設設備のあり方については、この間、議論されてきたところであるが、現に使用されて

いる施設については、耐震改修、改築等への計画的財政措置が求められる。

フ. 災害復旧費

災 害 復 旧 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
7,579,000	7,444,167	0	134,833	98.2	0.0

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度の支出済額は822万5千円である。

農業施設災害復旧費として744万4千円となっている。

ワ. 公債費

公 債 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
2,095,847,000	2,094,449,128	0	1,397,872	99.9	11.2

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額30億5,371万8千円に比較すると9億5,926万9千円(31.4%)の減少である。

支出済額のほとんどが市債償還元金と利子である。

一般会計の前年度末における未償還元金は154億908万8千円であり、これに当年度借入金額12億740万円を加え、この合計額から当年度元金償還額18億3,814万4千円を差し引いた額147億783万4千円が当年度末未償還元金である。

また、不用額139万8千円は、主に基金繰替運用による一時借入金利息の軽減により、償還金利子及び割引料123万2千円が不用となったものである。

カ. 諸支出金

諸 支 出 金

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,590,081,000	1,589,514,414	0	566,586	100.0	8.5

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額11億7,882万5千円に比較すると4億1,068万9千円(34.8%)の増加である。

支出の主なものは、土地開発公社貸付金11億1,100万円、財政調整基金費4億2,516万3千円、ふるさと応援基金費2,086万7千円、地域福祉基金費1,911万4千円、鉄道経営対策事業基金費1,098万円である。

ヨ. 予備費

予 備 費

議決予算額	充用額	不用額	充当率
円	円	円	%
21,500,000	6,531,000	14,969,000	30.4

当年度における予備費の充用件数は17件で、1,496万9千円が不用額となっている。